

第 15 期通常総会議事録

- 1、総会の種類 第 15 期通常総会
- 2、召集年月日 2018 年 7 月 1 日（土）16：15～17：15
- 3、開催場所
- 4、正会員総数 20 名
- 5、出席した正会員数 19 名
 - 内訳 本人出席 8 名
 - 委任状出席 11 名

6、議長選任の経過

定刻を過ぎて栢田理事長から開会が宣された。本日の通常総会は定員を満たしたので有効に成立した旨を告げた。議長ならびに議事録署名人の選任について、事務局の提案を出席者に図ったところ、議長として薬師堂謙一理事、議事録署名人として西原茂雄氏と永利智子氏が異議なく選任された。

7、議事の経過及び決議の結果

- (1) 第一号議案 「2017 年度事業報告並びに活動計算書承認の件」について中坊事務局長より議案書に沿って提案があった。また、宮本監事より監査報告書が読み上げられ、事業及び会計処理が適切であったと報告があった。議長が会場に意見や質問を求めたところ、以下の意見・質問があった。

- ▶ 新聞記事にがれきの薪利用というタイトルがあるが、がれきを活用するのは、廃棄物処理の観点から望ましくないのではないか。
 - 薪ストーブメーカーや販売店も、建設廃材の薪利用は推奨していない。その理由は、防腐剤や塗料などが建廃に付着しているから、ストーブの炉内に悪影響があることが懸念されている。九州バイオマスフォーラムとして提案したのは、朝倉市の水害や阿蘇の土砂災害の際に発生した流木の活用についてである。多少の砂や小石が入っているが、薪ストーブには悪影響はないので、実際に流木を薪として販売した実績がある。
- ▶ 朝倉市の水害は、土場に積んで保管していた木材がかなり流れたと聞いている。そのために、単なる土砂災害による流木よりも、はるかに多くの流木が発生したようである。
 - 議長が会場に他に意見・質問を求めたが、特になかったため議案承認を出席者に諮ったところ、満場一致で承認された。

- (2) 第二号議案 「2018 年度事業計画及び活動予算案決定の件」について中坊事務局長より議案書に沿って提案があった。議長が会場に意見や質問を求めたところ、以下の意見・質問があった。

- ▶ 復興支援活動とこれまでのバイオマス事業の担当者の配分などをどう考えていくか。
 - （中坊事務局長）議案書にある通り、バイオマスの利活用を通じて熊本の復興につながる事業を重点的に取り組んでいきたい。ただ、どうしてもバイオマス事業と復興支援活動が重ならない領域については、中坊が対応していく予定。ただ重ならない部分についても、地域貢献を通じてバイオマス事業の今後の普及につながっていくと考えている。
 - 議長が会場に他に意見・質問を求めたが、特になかったため議案承認を出席者に諮ったところ、満場一致で承認された。

- (3) 第三号議案「役員選出の件」について、中坊事務局長から議案書に沿って役員を選任について提案があった。山内理事および大津理事に関しては、重任を辞退された旨の説明があった。

議長が出席者に諮ったところ、満場一致で承認され、2018年7月1日からの役員の就任について、被選任者がいずれも就任を承諾した。

<理事>

梶田 聖孝 東海大学 名誉教授 (重任)
薬師堂 謙一 九州沖縄農業研究センター 専門員 (重任)
西原 茂雄 (株)西原商店 社長 (重任)
梶原 健次郎 (株)カジワラ 専務取締役 (重任)
竹原 隆樹 竹原牧場 社長 (重任)
松村 孝明 (株)くぬぎの森 社長 (重任)
中坊 真 NPO法人九州バイオマスフォーラム 事務局長 (重任)

<監事>

宮本 孝志 南阿蘇ルナ天文台 台長 (重任)

(4) 第四号議案「借入金最高限度額決定の件」について中坊事務局長より本年度の借入金最高限度額として、1,750万円の提案があった。議長が会場に意見・質問を求めたが、特になかったため議案承認を出席者に諮ったところ、満場一致で承認された。

(5) 第五号議案「その他」について、議長が年に一回の総会なのでこの議案を意見交換の場として充てる旨の説明があった。議長が出席者に意見を求めたところ、以下の意見があった。

- 草原再生オペレーター組合が使用している採草機械が、10年を経過する中で老朽化していると思うが、更新の方は大丈夫か？
→確かに老朽化しているので修理費が多くかかっている。また、2017年度に熊本県の補助金を活用してロールベラーとモアを更新している。
 - 野草の敷料などのカスケード利用について、何か計画があるか？
→竹原理事の協力を得て、ロールカッターで野草を裁断し、敷料利用の実験を行っている。今年度は、再度ロールカッターを活用して、敷料を作る実験を計画している。
- 議長が会場に他に意見・質問を求めたが、特になかったため意見交換を終了した。

以上をもって会員総会の全議案の審議を終了した。議長は、閉会の前に臨時理事会を開催するため、いったん休会とする旨の説明があった。第三号議案で選任された役員が会場から退席し、臨時理事会を開催して理事長の互選を行った。退席した役員が会場に戻り、互選の結果、理事長に薬師堂謙一理事、副理事長に松村孝明理事、事務局長に中坊真理事が選任されたと報告があった。議長が閉会を宣し解散した。時に17時30分であった。

上記の決議を明確にする為、議長及び議事録署名人において次に記名押印する。

2018年7月1日

特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

議 長 薬師堂 謙一

議事録署名人 西原 茂雄

議事録署名人 永利 智子